

## 博物館と学校教育との連携

—ジュニアワークシートを利用した小学校の実践を通して—

青木正邦\*

### はじめに

平成6年度に、遠足や宿泊学習で立山博物館を訪れた小・中・高等学校の数は108校であった。そして、そのほとんどの学校は当館の中心施設である展示館、遙望館を見学している。児童・生徒たちの様子を見てみると、遙望館では、立山曼荼羅を親しみやすくアニメ調で構成している「新立山曼荼羅絵図」や、立山の四季を迫力ある映像と音で紹介している「立山1990」の映像には興味を示している。しかし、実物や大型模型を中心として、立山の自然や立山信仰・歴史が展示してある展示館の方は、解説パネルも読まずに、展示全体を漠然と見て通り過ぎる児童・生徒が多い。これは、博物館と学校とが相互の連携をとっていないからではないだろうか。博物館をどのように利用し、どのように日常の教育活動に結びつけていけばよいのか。児童・生徒が「驚き」「発見」をもって、もっと主体的に自ら学べるようにしていくことが必要であろう。

ここでは、以上のような博物館教育の現状をふまえ、どのように見学をすれば主体的により展示を楽しく見られるか、また、学校教育の活動をどのように援助し、連携をとっていけばよいのかを考えてみたい。

## 1 国立立山少年自然の家での普及活動

当館から学校への働きかけ、連携を摸索するうえで、まず国立立山少年自然の家を利用する小学校に対する普及活動を行ってみた。

### 1.1 当館利用状況

国立立山少年自然の家は、当館と同じ地域（立山町芦峯寺）にある施設である。この自然の家は、大自然の中での宿泊学習を通して、児童・生徒が学校や家庭では得難い生活を体験するための施設である。

表1はこの自然の家を利用した学校で、当館を見学した数である。過去2年間は、県

---

\* 富山県 [立山博物館]

内外とも小学校が多い。また、今年度（平成6年度）は、国立立山少年自然の家の合同事前打合せ会<sup>1)</sup>に参加し、普及活動をおこなったためか、利用団体数と県外の小・中学校の利用数が増えてきている。

表1 国立立山少年自然の家を利用した学校の当館利用状況

地 域	学 校 数							
	平成5年度				平成6年度			
	小	中	高	計	小	中	高	計
県 内	45	6	5	56	39	4	9	52
県 外	1	1	0	2	7	10	0	17
合 計	46	7	5	58	46	14	9	69

## 1.2 合同事前打合せ会の内容

合同事前打合せ会では、立山博物館の特色や利用の仕方を15分程度で説明した。配布した資料は次のものである。

- 立山博物館チラシ
- ジュニアガイドブックの利用
- 立山博物館マップ
- 見学コース案 (図1)
- ジュニアワークシート (図2)

## 1.3 見学コース案とジュニアワークシート

図1の見学コース案は、国立立山少年自然の家の専門職員と打合せを行い、自然の家の活動に取り入れられている「歴史探訪」と結んで、立山の展望を楽しめる体験コース（小学生高学年以上）として紹介したものである。

図2のジュニアワークシートは、小学生が団体で見学する際に、単に漠然と見学するのではなく、見学のポイントを押さえ、常設展示資料についての理解をうながすための学習教材で、いわば、子供たちの展示資料に対する観察行動に刺激を与えるものである。

また、学校の教師には、このジュニアワークシートをそのまま使うのではなく、より児童の実態にあった手作りのテキストを作成してもらいたいという、当館側の願いも伝えた。

ジュニアワークシートは、以下の点に留意して作成した。

- ①事前指導、事中指導、事後指導用の3通りを作成する。
- ②内容は小学校の高学年を基準とし、発達段階に合うように考慮して作成する。
- ③自主的に資料を利用して、活発な学習が行われるように、ワークシート形式にする。
- ④遊戯性を加味する。



野外活動例

－利用案内P 4 山の生活や文化を学ぶ「歴史探訪」－

㊦㊦㊦ 芦峯寺全体が博物館 ㊦㊦㊦

立山博物館見学コース例：郷土の自然や文化に親しむ児童・生徒を育てることをめざして。

1 1日コース例 【 】標準見学時間

	10分	30分～40分	1分
立山少年自然の家発	……芦峯寺スキーゲレンデ	……有馬家	……カモシカ園
1分	5分	10分	3分
……合掌造休憩舎	……嶋家	……遙望館【50分】	……多目的広場（遙望館前）で昼食
2分	2分	10分	1分
布橋	……明念坂	……閻魔堂	……展示館【40分】
			……教算坊・雄山神社【50分】
	60～90分		
展示館前に集合（中山尾根ルート）立山少年自然の家の着			



8:30	自然の家出発	さあ今日は立山の自然と歴史を思いっきり学ぶぞ！
8:40	芦峯寺ゲレンデ	ゲレンデに出たぞ。意外と斜面が急だな。気をつけなければ！
9:20	有馬家	ちょっとだけ有馬家をのぞいてみよう。
9:25	カモシカ園	ニホンカモシカの最多産記録の「サチ」はどこにいるのかなあ・・・
10:25	合掌造休憩舎	ここでひと休み！これが上平村にあった民家で、江戸時代の末に建てられたものなのか ウ～ン
10:35	嶋家	またまた、古い家・・・これが細入村にあった国指定重要文化財の民家「嶋家」。
10:50	遙望館	これがウワサの遙望館！建物がユニークだなあ～あ……ナナ……ナトこの映像は????？ (映像後に「立山信仰」についての話があります。)
		
11:50	昼食	おいしいなあ… スーゴクおいしい（多目的広場）
12:50	布橋	映像の中に出てきた橋。橋から下のうば川をのぞいてみよう。スゴイ！
12:55	明念坂	布橋に向かう坂。まわりには多くの地藏さんが置かれている。

図1-1 見学コース案（その1）

- 13:00 閻魔堂  
これが南北朝時代につくられた閻魔王像か・・・  
地獄の主であり、8万もの鬼をしたがえていた。なるほど！ 今後絶対に嘘をつかないゾ
- 13:30 展示館  
  
ヤッターいよいよ班別で見学だ！しっかりと解説パネルを読んで学習していこう……………。
- 14:15 教算坊  
雄山神社  
昔の宿坊に入って、当時の雰囲気味わったり、雄山神社で祈願殿を参拝し、「富山県の木」である大きな立山杉（400～600年）を見てみたい。フツ……………。
- 15:00 展示館前に集合  
中山尾根ルートを通り、自然林を歩く。立山杉の植林の様子が体験でき、森林浴も味わうことができる。ワクワ
- 16:00 自然の家到着  
お疲れさま…サワヤカナ1日だったなあ～～

- ポイント1  
立山（雄山）登山の前日に博物館を見学すると、昔の人はなぜ立山に登ったのかよくわかり、登山をする意欲が高まります。
- ポイント2  
昼食可能な場所  
・透望館前の多目的広場 天気がよければ弁当を食べるには最高の場所。立山連峰が一望できます。
- ポイント3  
透望館の映像終了後、立山に関しての話をしています。



## 2 半日コース例

- Aコース  
展示館→雄山神社→透望館→昼食（透望館前の多目的広場）
- Bコース  
カモシカ園→透望館→展示館→雄山神社
- Cコース  
透望館→嶋家→カモシカ園→有馬家→合掌造休憩舎
- Dコース  
千垣駅→展示館→透望館→（中山尾根ルート）→自然の家
- Eコース  
その他

図1-2 見学コース案（その2）

## 事前学習用シート

富山県【立山博物館】を見学する前に、少し事前の学習をしておきましょう！

◎立山博物館がある場所は1～3のどれでしょうか。

- 1.立山町芦峯寺 2.立山町五百石 3.立山町岩峯寺

◎立山博物館の施設には○をつけてみよう。

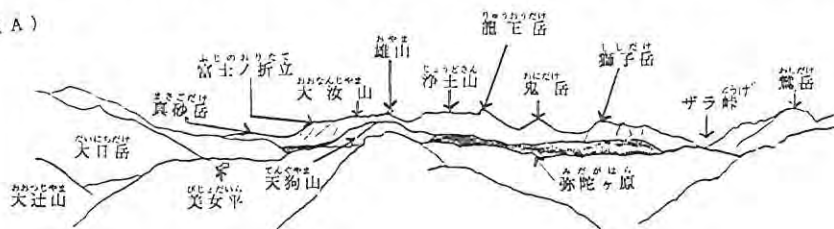
- ・遊覧館 ・展示館 ・雄山神社 ・教算坊 ・板楽坂スキー場 ・カモシカ園 ・資料館 ・輪家  
 ・有馬家 ・合掌休憩舎 ・阿魔堂 ・布橋

◎立山連峰の山には○をつけてみよう。

- ・雄山（オマ） ・白山（ハクサン） ・富士山（フジサン） ・剣岳（ツルギダケ）  
 ・別山（ベッサン）

◎（A）の山の絵は、芦峯寺から見える立山連峰です。山の名をおぼえるために、（B）に山の名を書いてみよう。

（A）



（B）

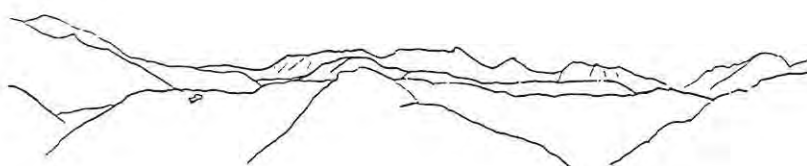


図2-1 ジュニアワークシート (No.1)

◎下の展示館と眺望館に、色をぬってみよう（色は自由です）

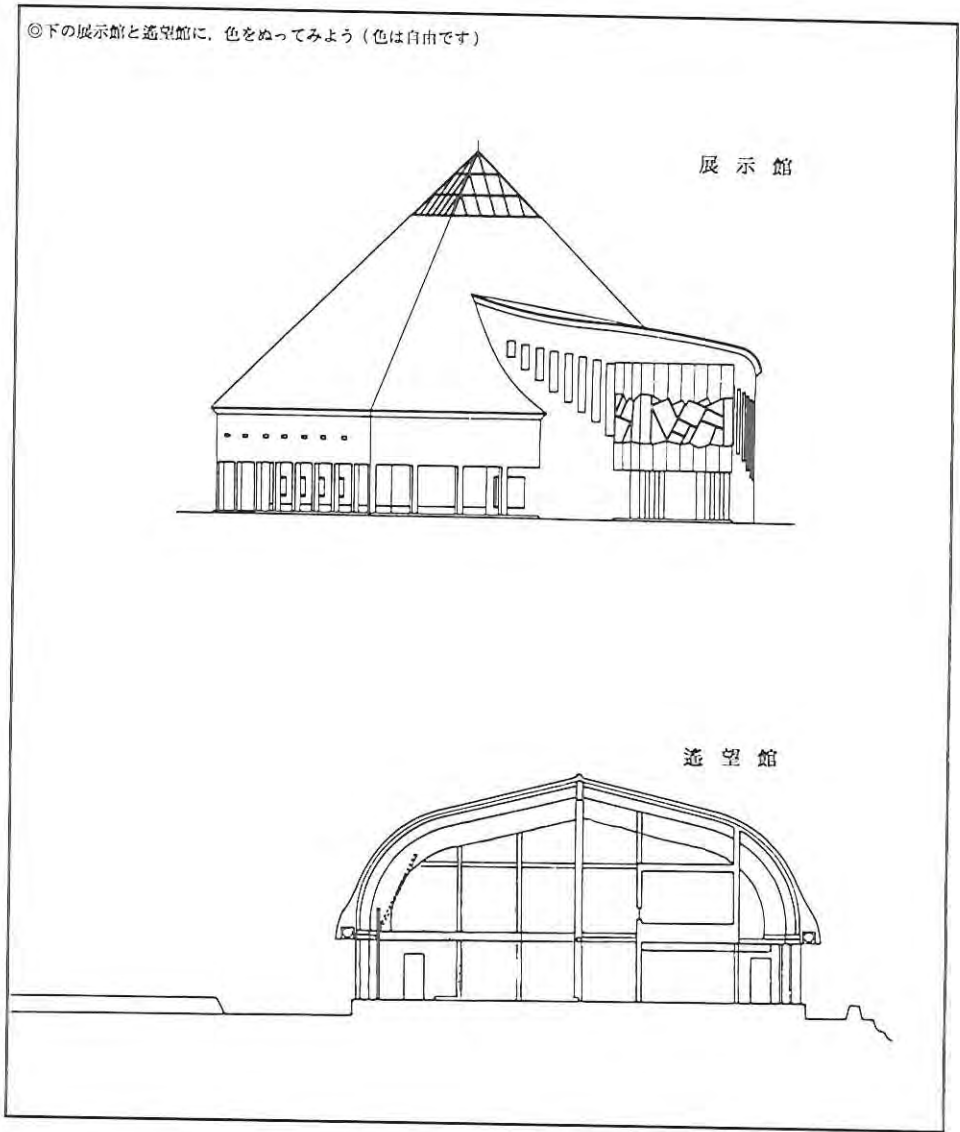



図2-2 ジュニアワークシート (No.2)

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">見学用 シート</div>	学校(団体)名 _____ 名前 _____ さあ立博ビンゴにチャレンジ してみよう！	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 33%; height: 33%;"></td><td style="width: 33%; height: 33%;"></td><td style="width: 33%; height: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%; height: 33%;"></td><td style="width: 33%; height: 33%;"></td><td style="width: 33%; height: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%; height: 33%;"></td><td style="width: 33%; height: 33%;"></td><td style="width: 33%; height: 33%;"></td></tr> </table>										1 最初に1～9のもんだい番号をハコの中に記入します。 2 「もんだい」をやる 3 答え合わせをする 4 たて、よこ、ななめが2つ以上そろえば合格
NO1	§ 第1展示室(3階) ブナの森へ § もんだい1 ブナの森の中には「けもの」がいます。ツキノワグマと何がいるでしょうか。その動物を30秒で見つけてみよう。											
	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>	30秒で見つけたら○に色をぬろう。 ○										
	もんだい2 ブナの森の中にある植物を3つ書いてみよう。 → ヒト: 解説が 補をしっかりとみてください			全部で 25 種類 の植物 があり ます								
	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>									
	もんだい3 ブナの木に鳥がとまっています。その鳥の名前を書いてみよう。 → ヒト: 解説が 補をしっかりとみてください											
	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>											
	もんだい4 立山付近は雨や( )が多く降るところです。											
	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>											
	もんだい5 <small>みんせい</small> 安政5年2月26日の朝おきた地震(安政の大地震) 「安政」は何時代の年号か。わかるかな? → ヒト: 徳川将軍											
	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>											
	もんだい6 <small>たて</small> 断層が動くと( )がおきる。 → ヒト: ゆれる。危険！											
	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>											
	もんだい7 <small>たて</small> 立山連峰の模型を鳥になったつもりで見よう。「 <small>みんがほら</small> 弥陀ヶ原」「 <small>しょうめうだま</small> 称名滝」「 <small>たて</small> 雄山」を指さすことができたら○の中をぬりつぶしてください。											
	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; margin: 0 auto; text-align: center;">○</div>											
	もんだい8 <small>しょうめうだま</small> 称名滝の落差は日本1。何メートルありますか。ヒト → : 解説が 補をしっかりとください											
	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; margin: 0 auto; text-align: center;">メートル</div>											
	もんだい9 「地獄谷」「餓鬼の田圃」それぞれ何と読みますか。⇒ ヒト: 「じ○○だに」「か○のた○ほ」											
	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>										
	もんだい10 3階の展示で、もう一度見てみたいものを1つ書きなさい。											
	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>											

図 2-3 ジュニアワークシート (No.3)

兄学用  
シート

しっかりと解説パネルを読みながら  
見学しよう！




NO 2

§ 第2展示室（2階）立山信仰の世界へ § ※1階が最後にてできます

もんだい1 2階の展示室に入ると、山の頂上に建物が建っている。この建物は何とよばれているか。  
→ ヒト：解説が 神 をしっかりみてください

雄山神社 (                      ) 社殿

もんだい2 立山は古くから、神の住む山と信じられていました。歌人であった越中国司の大伴家持が詠んだ歌を完成させなさい。→ ヒト：解説が 神 をしっかりみてください

(                      ) にふり置ける雪を常夏に見れども飽かず神からならし 「万葉集」

もんだい3 修験者の持ち物を2つ書いてみよう。  
→ ヒト：展示をしっかりとみてください

もんだい4 ほら穴（玉殿の窟）があります。のぞいてみてください。ナント！ナント！その中から○○○如来があらわれました。○の中に漢字を入れなさい。  
→ 注意！ほら穴には入らないでください

如 来

もんだい5 布橋を渡る模型を見てください。向かって左側にある建物を閻魔堂という。  
そこで、右側の建物の名を何というか。  
→ ヒト：中には「オンバサマ」がおられました

もんだい6 芦峯寺にあった宿坊（立山に登る人たちがとまった宿）の数は？  
→ ヒト：解説が 神 をしっかりみてください

もんだい7 「たてやまんだら」を漢字で書いてみよう。  
→ ヒト：まんだらが展示してあるところに書いてあります

もんだい8 女性や外国人が、立山に自由に登れるようになったのは、何時代からだと思いますか。  
今人気の“三択問題”です。

1 江戸時代 2 明治時代 3 昭和時代

番号

もんだい9 時間との勝負です。1階に芦峯寺周辺地形の模型があります。10秒以内に布橋が見つかるか挑戦してみよう。10秒で見つけたら○に色をぬりましょう。

○

もんだい10 2階の展示で、もう一度見てみたいものを1つ書きなさい。

図 2-4 ジュニアワークシート (No.4)

76



<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">事後学習シート</div> § 立山博物館見学後にやってみよう §	
<p>☆ きみはどのくらいおぼえているか！ (第2展示室……2階 立山信仰の世界へ)</p> <p>◎ どれだけおぼえているかな？見学が終わったあとに挑戦してみてください。</p> <p>………切って！はって！ 学習しよう………</p> <p>切りばり用資料から、関係ある資料を切りとって、はってみよう。また、そのあと、展示してあった順（入口から）に、番号を書いてみよう。</p>	
ー立山とそのところー (番号: )	ー修験の山ー (番号: )
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">&lt;立山<sup>たてやま</sup>頂上社殿&gt;</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">&lt;剣<sup>つるぎ</sup>岳から発見された錫杖<sup>しやくじょう</sup>頭&gt;</p> </div>
ー立山が開かれるー (番号: )	ー新しい時代の中へー (番号: )
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">&lt;立山<sup>たてやま</sup>開山のシボル<sup>シボル</sup>主殿の窟&gt;</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">&lt;立山に登山するウェストン&gt;</p> </div>
ー広まる立山 <sup>たてやま</sup> 信仰ー (番号: )	ー立山に地獄 <sup>じごく</sup> ありー (番号: )
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">&lt;立山マンガラ&gt;</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">&lt;立山地獄の図&gt;</p> </div>
ー立山に登るー (番号: )	ーおんばさまによせた心ー (番号: )
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">&lt;音<sup>ね</sup>峠<sup>とげ</sup>寺の宿坊風景&gt;</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">&lt;おんばさま&gt;</p> </div>

図 2 - 5 ジュニアワークシート (No.5)

## 2 博物館学習の実際

### 2.1 ジュニアワークシートを使った実践例

実際に、ジュニアワークシートを使って見学した小学校の博物館学習の方法等を調査することにした。ここに、その調査の結果について報告する。

ここではまず、事前に学習シートを配布しておいた学校の実践例を紹介する。

#### (1) 1日コースを使った実践活動例

①学 校 : 県内小学校 (5、6年)

②年月日 : 平成6年9月3日 (土)

③生徒数 : 47名

④引率者数 : 5名

⑤学習の流れ : 図3参照

⑥引率の先生の感想

・帰りの中山尾根ルートは大変きつかったが、子供たちにとってはとてもよい経験になり、思い出にも残ったと思う。また、立山信仰を肌で体験したことで、子供たちなりに、富山の人々と立山とのつながりを感じとったのではないかと思う。

#### (2) 半日コースを使った実践活動例

①学 校 : 県外小学校 (6年)

②年月日 : 平成6年9月8日 (木)

③生徒数 : 128名

④引率者数 : 8名

⑤学習の流れ : 図4参照

⑥引率の先生の感想

・最初は学校独自のワークシートを作ろうと思っていたが、下見をしていなかったため作成することができなかった。しかし、博物館で作られたワークシートがあり、大変助かった。そのワークシートは、ただ問題を解いていくだけではなく、遊び感覚が盛り込まれていたため、子供たちはとても楽しく取り組んでいた。

### 2.2 見学後のアンケート結果

ジュニアワークシートを使って、博物館学習を体験した小学校の中から5校の児童にアンケートを実施した。結果は表2の通りである。

場 所	生 徒 の 動 き
1 自然の家 出 発	1 活動する上での注意事項を聞く ツブヤキ：なにか楽しそうだ。大変そうだ。
2 戸咲寺スキー場 ゲレンデ	2 学年、班ごとに移動する ツブヤキ：意外と急だ。村が見える。黒い屋根の変った建物がある。
3 有馬家 カモシカ園 合掌休憩舎	3 班ごとに自由見学する ツブヤキ：たくさんニホンカモシカだ。このカモシカは雄かな。 かわった農具がたくさんある。
4 嶋 家	4 造望館に行く途中に、先生の説明を聞く ツブヤキ：どこかで見た。寒そうな家だ。
5 造 望 館	5 「立山の自然」と「立山信仰」の映像を観る ツブヤキ：すごい。恐い。 観 望：映像が終わってスクリーンが上がり立山連峰の山が見えた瞬間、「わー」というため息 がでた。
6 昼 食 (多目的広場)	6 班ごとに弁当を食べる ツブヤキ：広い。山がきれい。
7 布橋・明念坂 閻魔堂	7 学年ごとに移動する ツブヤキ：閻魔さまを見たい。恐い。
8 展 示 館	8 ジュニアワークシートを使い班別見学 ツブヤキ：(3階)ツキノワグマがいる。たくさん動物がいる。熊胃は知っている。なぜブナの森 にたくさん動物がいるの。どこの雲か。富山でも地震がおきるのか。 (2階)匂いが悪い。洞だ。仏像がいる。大きな模型だ。おんばさまは恐い。
9 教 算 坊 雄山神社	9 学年ごとに見学 ツブヤキ：大きな木がたくさんある。何年ほどたった木なのか。有頼の墓がある。広いなあ。
10 展示館前に集合	10 アンケート調査 ツブヤキ：楽しかった。また来たい。
11 中山尾根コース	11 1時間ほどかかる ツブヤキ：大変だ。苦しいよ。がんばれよ。けがするな。先生も苦しそう。
12 自然の家 到 着	12 ツブヤキ：よかった。楽しかった。疲れた。もうすぐ夕飯だ。

図3 1日コースの学習の流れ

場 所	生徒の動き
1 △ 自然の家 出発	1 バスで出発
2 □ 展示館 到着	2 A・Bの2隊に分かれて行動する (A隊を観察)
3 □ 展示館 (A隊) ワークシート答合わせ	3 ジュニアワークシートを使い班別見学 ツブヤキ：がんばろう、簡単な。 (担当教師の指示・説明で、ビンゴゲーム方式で答え合わせを行う。) 観 察：担当の教師の発問がすばらしかったため、子供たちは生き生きとしまなぞして学習していた。
3' □ 透望館 (B隊)	3' 「立山の自然」と「立山信仰」の映像を見る
4 □ 布橋・明念坂 閻魔堂	4 閻魔堂の前で、引率の先生が説明 ツブヤキ：怖い(目を閉じて)。
5 □ 透望館 (A隊)	5 「立山の自然」と「立山信仰」の映像を見る ツブヤキ：立山に登ってみたい。きれいだ。
5' □ 展示館 (B隊)	5' ジュニアワークシートを使い班別見学 ツブヤキ：やった正解だ。早く答えを教えてください。
6 △ 展示館 前に集合	6 アンケート調査 ツブヤキ：すごく楽しかった。よし書くぞ。

図4 半日コースの学習の流れ

表2 『ジュニアワークシート』を使った学校のアンケート結果 (408名/5校の全集計)

質 問	回 答 集 計 結 果	
	1日コース実施校 (1校:47名)	半日コース実施校 (4校:361名)
1. 「事前学習シート」を見学前にやりましたか。	・ やった 28% ・ やっていない 72%	・ やった 36% ・ やっていない 64%
2. 「事前学習シート」をやったの感想を聞かせてください。	・ 楽しくできた 94% ・ 楽しくなかった 6%	・ 楽しくできた 59% ・ 楽しくなかった 41%
3. 「見学用シート」の問題は簡単でしたか。	・ 簡単 66% ・ 難しい 34%	・ 簡単 47% ・ 難しい 53%
4. 「見学用シート」を楽しくやることができましたか。	・ できた 94% ・ できなかった 6%	・ できた 75% ・ できなかった 25%
5. 「見学用シート」のビンゴにチャレンジしてみましたか。	・ した 55% ・ しなかった 45%	・ した 38% ・ しなかった 62%
6. 見学するときに「事前学習シート」「見学用シート」のようなプリントがあったほうがよいと思いますか。	・ あったほうがよい 87% ・ いらぬ 13%	・ あったほうがよい 66% ・ いらぬ 34%
7. 見学を終えての感想を、書いてください。(◎は特に多かった感想である。)	◎ シートがあったので、ゆっくりと見学ができた。 ◎ もう一度立山博物館に来て、問題をやってみたい。 ◎ グループで相談しながら協力してできたのでよかった。 ・ フナの森が印象に残った。 ・ おんばさまの顔が恐かった。 ・ 大きな模型があったのでよくわかった。 ・ 遠望館の映像は、とても迫力がありよかった。 ・ 立山曼荼羅の絵はとても細かく書いてあって驚いた。 ・ 間蔵さまが恐かった。 ・ シートを使って見学したので楽しかった。 ・ シートをしながら問題をやっていくと立山のことが少しずつわかるようになった。	◎ 遠望館の映像がとても印象に残った。 ◎ もっとゆっくりと見学したかった。 ◎ デビデオが楽しかった。 ・ シートがあったので、見学するときに意欲がでた。 ・ 立山博物館のような博物館が各県にあればよいと思った。 ・ 立山曼荼羅の映画が恐かった。 ・ 建物に印象に残った。 ・ 立山は井波の自然と違っていた。 ・ 2階の頂上社殿の模型がよかった。 ・ 社会科が好きなので、もっと立山の歴史を調べてみたいと思った。 ・ 間蔵堂の中に間蔵さまがいて驚いた。

## 2.3 考察

2.1では、各児童のつぶやき等の反応を中心に活動を観察してみた。各児童は展示資料を見て、楽しく調べたり、考えたり、班で相談したりしてワークシートに取り組んでいた。特に、1日コースを実践した学校の場合、国立立山少年自然の家から博物館まで徒歩で移動してきたことが、期待感をよりふくらませ、意欲的に見学することにつながったようである。また、2.2のアンケート調査では、1日コースで実施した児童は、ゆっくりとワークシートをやりながら見学できる良さを認めている。反対に、半日コースの児童は、見学時間の不足なためか問題の難解な点を指摘している。感想としては、ジュニアワークシートを使うことによって意欲的に興味をもって学習できたということが、多くあげられている。

以上から、ジュニアワークシートやコース案を作成し、積極的に学校教育へ働きかけたことが、学習効果を高めることにつながったと考えている。

## 3 おわりに

国立立山少年自然の家と調査実践校の協力によって、博物館と学校教育との連携の大切さを知ることができたのは非常に有益であったと思っている。特に、ジュニアワークシートが本年度最初の試みであり、児童がどのような反応を示すか未知であったので参考になった。

今後は、学校と博物館が、互いにそれぞれの学習の場を活用し合い、情報交換等を通して理解を深め、児童・生徒が自ら学ぼうとする力を育てあげて行くことが必要である。

当館としては、博物館としての独自の事業のみならず、学校からの期待や要望を踏まえながら、学校教育との連携を常に念頭に置いた博物館活動の在り方も模索し続けていきたい。また、当館の実情をふまえて、今までの活動をどう定着させるか、あるいは変化させるか、教師と共に検討していくことが課題となると考える。

## 註

- 1) 国立立山少年自然の家では、合同事前打合せ会を年5回実施している。この打合せ会では宿泊学習に参加する団体の代表者が集まり、施設利用のための説明、活動内容の調整、各種実践等の情報交換などが行われている。